

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向		良くなっている	景気は、個人消費などが力強さを欠くものの、基調的には緩やかに回復している。輸出、生産の持ち直しが明確になっており、経済状況は着実に改善している。企業収益も好調に推移しており、春季労使交渉においても前向きな動きが見られる。 先行きも、雇用・所得環境の改善を通じた個人消費の持ち直しや、企業収益の好調さを背景とする設備投資の増加を受け、景気は緩やかに回復していくと見込まれる。
1	2015年3月上旬から中旬にかけての経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(2014年12月上旬から中旬)と比べて良くなっているか、悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。その際、前年との違い等お気づきの点があれば併せてご記入下さい。		
経済の好循環実現に向けた取組について		-	経済の好循環の2巡目を回していくために求められることは、収益が拡大している企業のより積極的な対応である。具体的には、設備投資や研究投資開発、雇用の拡大などとあわせて、賃金の引き上げを前向きに検討することが強く期待される。 例えば、定期昇給の実施や、改善した業績を賞与・一時金にしっかりと反映していくことに加えて、諸手当の改定や若年層など特定層の賃金の引き上げについて、検討することが望まれる。さらに、子育て世代への配分を高めることも、検討課題となろう。 そのほか、教育訓練の充実や、子育て・介護を担っている従業員を支援する制度の充実と利用の促進なども含め、従業員のモチベーションを高めるための人的投資についても、積極的に検討していくべきである。
2-1	足下の企業収益の拡大が速やかに賃金上昇や雇用拡大につながり、更なる消費や投資の拡大に結び付くためにとるべき対応について、具体的なお考えがございましたら、500字以内でご記入ください。		
2-2	好循環が生まれ始めている一方、非正規労働者や中小企業等への波及が重要との指摘もございます。そうした観点から強化すべき取組について、お考えがございましたら300字以内でご記入ください。	-	本人の意思に反して非正規労働を選択せざるを得ない、不本意非正規労働者に的を絞って、政策的支援への取組を強化すべきである。 具体的には、不本意非正規労働者の実態について、さらなる調査を行いつつ、正規化に向けた現行の支援策の拡充を検討する必要がある。